

1. 件名：「海外回収ウラン燃料の利用に関する手続面談」
2. 日時：令和3年11月17日 16時30分～17時00分
3. 場所：原子力規制庁 9階A会議室（一部TV会議システムを利用）
4. 出席者（◎・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

関企画調査官、鈴木主任安全審査官、西内安全審査官、岩野審査チーム員

関西電力株式会社：

原子力事業本部 原子力燃料部門 燃料技術グループ マネージャー◎
他7名◎

北海道電力株式会社：

原子力事業統括部 原子力安全推進グループ 担当者2名◎

四国電力株式会社：

原子力本部 原子力部 燃料技術グループ 担当者3名◎

九州電力株式会社：

原子力発電本部 原子燃料技術グループ 担当者1名◎

日本原子力発電株式会社：

発電管理室 炉心・燃料サイクルグループ 担当者2名◎

5. 要旨

- (1) 関西電力株式会社より、海外回収ウラン燃料の利用に関して、概要、今後のスケジュール等についての説明があった。また、今後、本面談に出席した事業者より、個別のプラント毎に設置変更許可の要否について相談したいとの申出があった。
- (2) これに対し、原子力規制庁は、個別のプラントの申請手続について相談がなされれば、行政相談として対応する旨を伝えた。
- (3) 各事業者より、了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

- ・資料－1 海外回収ウラン燃料の利用について

以上